

作業在宅援助論で吸引演習をしました（2022.1）

2022年1月28日

4年生の在宅援助論で看護学専攻の中西泰弘先生、菅彩香先生、福重春菜先生に吸引演習の指導をしていただきました。吸引は気道・気管内にカテーテル（細い管）を挿入し、分泌物を吸い出して除去することで、呼吸困難感をやわらげたり、肺でのガス交換をやすくするために行うケアです。医療の現場では吸引を必要とするひとが多くいるために、平成30年に規則が改正され、作業療法士のコースでも学ぶことになりました。

吸引演習では1グループ4人で、モデルを使って練習した後、クラスメートの口の中の吸引を体験しました。慣れないカテーテルの取り扱いには苦戦したようですが、みんな真剣に取り組んでいました。

